

基本方針Ⅰ

一人ひとりの個性を大切にし、社会の持続的な発展に向けて学び続け
未来を切り拓く子どもを育てます

<確かな学力>

4 グローバル教育の推進

担当課：学校支援課

現状と課題

急速に進展するグローバル化・デジタル化により、国境を越えた活動が日常化し、国際的な協働が不可欠になっています。一方で、国際社会では分断も起きており、世界規模で解決できない課題が起こっています。こうした中、多様な価値観や文化の中で協働でき、持続可能な社会の創造や複雑化・多様化する社会課題に対応できる国際対応能力（グローバル・コンピテンシー）をもつ子どもを育成することが求められています。

小学校では第3・4学年の外国語活動、第5・6学年での外国語科が実施され5年が経過しました。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく育成し、言語活動を通して英語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するには、小学校の外国語活動及び外国語科の目標や内容を中学校の外国語科に円滑に接続し、学習内容の系統性を確保することや、小中学校の教員が連携して指導計画を作成し、学習内容を継続的に実施することが重要とされています。

また、子どもが実際に英語を使ってコミュニケーションを図る経験を通じて、英語力を育成できるよう教職員の指導力向上に向けた取組をより一層進める必要もあります。

さらに、多様な文化や価値観を理解・尊重し、社会課題に対して意識をもって解決に向かい取り組んでいくためには、多様な価値観をもった他者との協働の中で新たな価値観を見出し、イノベーションを創り出す経験が必要です。松阪市では、外国語指導助手（以下「ALT」という）や英語に堪能な地域人材である小学校指導助手（以下「EST」という）を各校へ派遣したり、ALTやESTと英語でたくさんコミュニケーション活動を行う English Camp や English Day を実施したりしています。自国の文化や伝統を理解・尊重するだけでなく、他国の文化や価値観に触れ、国際社会の一員としての自覚をもち、他者と協働・共生しながら主体的に行動する力の育成をめざすために ICT を活用し、学校内外において、様々な人々と触れ合い、交流していくことも必要です。

今後の方向性

多様な価値観や文化を尊重し、持続可能な社会の創造に参画できる国際対応能力をもつ子どもを育成するため、英語による実践的なコミュニケーション力を向上させる言語活動や、ICT を活用して、さまざまな国や地域住民とつながる機会の充実を図ります。また、学びの振り返りを通じて、自らの成長を客観的に捉え、生涯にわたって主体的に学び続ける力を育みます。

取組内容

- ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を統合した必然性のある言語活動の充実を図り、実践的なコミュニケーション力の向上を図ります。また、「話す力」の向上をめざし、ICTを活用した個別の学習や家庭学習の充実を図ります。
- ・研修会や指導主事の学校訪問等を通じて、教職員の英語運用力・実践的指導力の向上を図ります。
- ・小学校では英語学習アンケートを通じて学習意欲を、中学校では外部検定試験により英語力を客観的に把握します。小中学校ともに、得られた結果を基に教職員が指導改善を図り、効果的な指導方法の確立をめざします。
- ・ICTを活用して学習到達目標（CAN-DO リスト）※1を校区で共有し、小中学校の円滑な連携を図ることで目標・内容の接続や活動の実践・共有を促進するとともに、子どもたちに継続的・系統的な学習を進められる環境を提供します。
- ・ICTを活用して、学校間の交流や、さまざまな国や地域住民とつながりを深めることで、多様な価値観に触れる機会の充実を図ります。また、国内外のグローバル人材との交流を通じて、国際対応能力（グローバルコンピテンシー）の向上をめざします。
- ・English Camp や English Day を通じて、ALT や EST との交流を楽しみながら、英語での実践的なコミュニケーション力を育み、英語学習への意欲を高めます。また、自他の文化や伝統に触れる体験を通して、協働・共生し主体的に行動する力を育てます。

5つのチャレンジ
学んだことを活用する



評価指標

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	・海外の児童生徒や国内外のグローバル人材と英語で国際交流を実施した学校の割合	25%	50%
成果	・中学校卒業段階で英検3級以上相当の英語力を習得した生徒の割合	61%	65%

【参考】令和7年度まで 小学校 36 校 中学校 11 校 令和8年度から学校再編により 小学校 31 校 中学校 11 校

達成をめざす SDGs



※1 「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5つの領域ごとに、児童生徒に身につけさせたい力を、主に、「～することができる」の形で記した能力記述文を一覧表にしたもの